

(西暦) 2025年 5月 23日

悪性リンパ腫の治療のため当院に入院・通院されていた患者さんの 診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに

がん治療で腫瘍（がん細胞）が急速に死滅すると「腫瘍崩壊症候群」という状態が起こり、体内の尿酸値が上昇します。この研究では、悪性リンパ腫の患者さんの治療後に尿酸値が再び上昇するリスクとその要因を調べ、適切な予防薬の使用期間を明らかにすることを目指しています。

対象

2016年6月から2024年11月までに、悪性リンパ腫（びまん性大細胞型B細胞リンパ腫）と診断され、腫瘍崩壊症候群の予防対策を受けた方

【試料・診療情報等の項目】

診療情報等：

患者さんの基本情報（年齢、性別）、治療内容（使用した抗がん剤の種類、投与スケジュール）、腎機能の検査結果、血液検査の結果（尿酸値、電解質など）、腫瘍崩壊症候群のリスク分類、尿酸降下薬の使用状況

【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報は他機関への提供は行いません。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、中村花絵までご連絡をお願いします。

研究課題名

悪性リンパ腫における腫瘍崩壊症候群予防後の尿酸値再上昇に関する実態調査とリスク因子の探索

研究内容

電子カルテの診療情報より、腫瘍崩壊症候群の発生状況、尿酸を下げる薬の使用期間、治療開始後の尿酸値の変化を調査します。特に治療開始後8日から60日の間に尿酸値が再び上昇する要因を統計的に調査します。

個人情報の管理について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

研究期間

病院長承認日～ 2026年 6月 1日（予定）

医学上の貢献

例：本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しかし、本研究により尿酸値が再上昇するリスク因子が明らかになる事により、新たな知見が得られることで科学への貢献が為され、社会への貢献が達成されると考えられます。

研究実施機関

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院【診療科・部門名】

（他に共同研究機関があれば記載のこと）

【当院での研究責任者】 所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 中村花絵

【利用する者の範囲】

所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 牟田拓未

所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 桑崎綾子

所属 薬剤部 職名 薬剤師 氏名 田中早穂子

所属 臨床試験センター 職名 臨床試験センター長 氏名 野中敏治

所属 薬剤部 職名 薬剤部長 氏名 吉田 実

所属 血液内科 職名 医長 氏名 栗山拓郎

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

対応者：浜の町病院 薬剤部 中村花絵

連絡先：092-721-9918（平日：8：30 - 17：15）

以上